



Title	財団法人大阪癌研究会の事業目標
Author(s)	田口, 鐵男
Citation	癌と人. 1980, 7, p. 2-2
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/24159
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

財団法人大阪癌研究会の事業目標

常任理事 田 口 鐵 男*

本研究会の事業は ①癌に関する学術研究の奨励助成 ②癌制圧、癌知識の普及活動
③癌に関する刊行物の発行、配布 ④癌の集団検診活動および癌の相談事業等であります。

ここ数年来の癌の集団検診活動をみると、まず乳ガンは、受診者数が年々増加の一途をたどっており、約1万人の受診者をかぞえております。本研究会がガンの早期発見のための集団検診を各方面に呼びかけ、すでに吹田、箕面、大東、松原の各市では、これを前向きにとりあげ、市の成人病対策の一環として実施しておられますことはよろこばしいことであります。つぎに直腸ガンならびに消化管の検診につきましても、昭和54年度は約1万人の集検を実施し、着々と成果をあげております。

このように本研究会の目的が遂行できるのも、大阪大学微生物病研究所附属病院、外科、放射線科、大阪商工会議所、および吹田母子会等の方々の多大なご協力によるところで、心からお礼申しあげる次第です。

このようにして、関係方面の方々のご支援をうけて本研究会の検診活動は益々忙しくなるものと考えます。それにともなって、乳ガン、直腸ガンのほかに胃ガン、肺ガン、予宮ガンなども検診できる設備の充実を早急に整備することがのぞまれます。本研究会としては、大阪市東区淡路町に開設しております大阪事務所に、これらの施設を充実し、ガン検診活動の拠点としたいと考えております。

一方、長期的な事業目標として、本研究会直営の総合的な癌デテクトセンターの開設を計画しております。

これからは、我が国の人口は老令化がすすみ、いわゆる成人病が年々多くなってまいります。死亡順位の上位を占める脳卒中、ガン、心臓病等の成人病対策として、その診断検査システムの確立が重要となってまいります。本研究会としても、これらの要求にこたえる設備の充実が、是非とも必要となってきます。また社会情勢はかなりきびしいだけに国民の健康がなにより大切であります。ガン征圧を通して本研究会の活動も一層重要な役割と自覚し、今後ますます努力してまいる所存ですので、皆様方の強力なご協力、ご支援を切にお願いいたします。

* 大阪大学微生物病研究所附属病院長